

代表質問 (3)、議会 NEWS ②

西東京市議会公明党

市民の大切な声を集約した
公明党の提案、新規・拡充
事業の随所に反映!

大田 林光 藤田 伸之 小佐藤 美智子 佐藤 公男 幡勝 己

【質問】 平成30年度予算について、経費圧縮の努力は評価するが、市民サービス低下など影響はないのか。また、都議会公明党が強く求めた東京都町村総合交付金増額の本市への影響を問う。

【答弁】 平成30年度内の事業認可取得に向けて手続を進めており、認可後、関係権利者への説明会を開催する。

【質問】 高齢社会を見据え、交通不便地域での移動支援を求めている。今後の取り組みを問う。

【答弁】 平成30年4月から勉強会を開催。地域の方々と意見交換を行い、移動支援手法の実現に向けて丁寧に取り組む。

【質問】 シニア層の方に地域で活躍いただくため、コンビニとの協定による仕事の紹介を提案した。取り組みを問う。

【答弁】 平成29年10月に採用説明会を開催し、参加者44名のうち8名が就業した。

【質問】 女性の創業・就労支援事業は、家族等の理解と協力が不可欠。そうした視点で事業を展開すべき。

【答弁】 女性が働くことへの家族の理解やサポートを醸成するため、家族と参加できるプログラムを実施する。

【質問】 待機児対策のこれまでの成果を問う。

【答弁】 平成27年度から平成30年4月1日の新規開設を含め、約800人の受け入れ拡大を図った。

【質問】 都市と農業の共生へ、農地の多面的機能を市民に伝える取り組みをすべき。

【答弁】 児童生徒の農業体験や市民参加イベント、畑の防災訓練などを実施。農業

の振興、農地保全に努める。

【質問】 学童保育での支援員の処遇改善や長時間開所に積極的に取り組むべき。

【答弁】 平成30年度から支援員の報酬改定を予定。長時間開所は委託化を検討する。

【質問】 (仮称) 子ども条例制定への取り組みを問う。

【答弁】 (仮称) 子ども条例検討専門部会を設置し、7回の会議を開催。5月に答申を得られるよう進める。



農地の多面的機能を周知することを目的に開催した畑の防災訓練

の評価と今後を問う。

【答弁】 若者の斬新な視点からの意見は参考になり、市の魅力向上にも寄与するものと期待している。平成30年度も議論を進め、アイデアを施策や事業に反映する。

【質問】 教員が子どもたちと向き合う時間を確保するための体制整備を求める。

【答弁】 平成30年度にスクール・サポート・スタッフを小学校3校、中学校1校に配置。部活動指導員を各中学校に1名配置する。

【質問】 空き家の適正管理への対策を求めている。今後の取り組みを問う。

【答弁】 (仮称) 空き家対策条例を平成30年度の制定に向けて検討する。

【質問】 介護支援ボランティアポイント制度の拡充を求めている。高齢者のニーズを把握し、マッチングを図るべき。

【答弁】 平成30年度から市内の高齢者施設等で行う活動をポイント対象に加える。高齢者の社会参加等による地域活性化、支え合う仕組みづくりを推進する。

【質問】 全ての児童の居場所づくりへ、放課後子供教室事業を拡充すべき。

【答弁】 今後、学習活動や学童クラブとの連携など、一層の充実を図っていく。

【質問】 公明党の国会質問により、就学援助費のうち新入学学用品費を入学前に支給できる改正が文科省から通知された。対応を問う。

【答弁】 国から補助金要綱の改正が通知されたことから、平成31年2月に支給できるよう調整を進める。

【質問】 まちづくりに若者が参加する「若者サミット」



フレイルサポーターによるフレイルチェック

【質問】 加齢による虚弱を予防するフレイル予防事業の推進は、高齢者支援の重要な取り組みと考える。今後の事業展開を問う。

【答弁】 これまでフレイル

エックによる自身の状態変化の把握や虚弱予防を実施して139名が参加した。平成30年度から、地域団体によるフレイルチェックの自主運用も新たに開始する。

【質問】 下野谷遺跡について、不断の普及啓発を行うべき。

【答弁】 下野谷遺跡保存活用計画について、パネル展示、シンポジウム等、広く市民全体で普及啓発を実施した。平成30年度も市民に向けたさらなる活用を図る。

【質問】 庁用車の台数及び維持管理コストの削減を提案してきた。取り組みを問う。

【答弁】 庁用車の削減に向けた方針をまとめ、削減目標を検討したい。

【質問】 暫定統合における仮庁舎及び田無庁舎の再配置では、4階の税部門を2階の市民課窓口で手続できるようにすべき。

【答弁】 市民の利便性向上の観点で考え、部署配置も再度検討する。

【質問】 市民会館跡地活用へ、民間事業者の知見によるサウンディング調査を提案した。取り組みを問う。

【答弁】 今後、サウンディング調査を実施。(仮称)官民連携施設整備方針を策定し、事業者選定につなげる。

【質問】 市民の努力により、ごみを減量している。他市も実施しているプラスチック類の無料化を検討すべき。

【答弁】 他市の動向、今後のごみの減量化・資源化等が与える影響等を検証する。

【その他質問等】

◇ひばりヶ丘駅南口の交番の移設が示された。周辺地域、利用者の声を聞き、市として地域の安全・安心を守る対策を講じるべきと強く申し上げる。

議会 NEWS ② — 採択された陳情への市の対応 —

市議会が採択された請願・陳情については、市長や教育長に送付され、そのうち、結果等を請求することに決したものは、市議会に報告することとなっています。ここでは平成29年に採択又は趣旨採択された陳情5件のうち3件について、市からの報告をお知らせします。(平成30年1月31日時点)

Table with 3 columns: Item Name, Date of Adoption, and Description of the Petition/Response. It details the adoption of petitions regarding bicycle use promotion, tennis court closure, and support for people with physical disabilities.

※平成29年6月16日に趣旨採択された「就学援助制度の入学準備に間に合う前倒し支給を求める陳情」及び平成29年9月20日に趣旨採択された「西東京市の空き家対策に関する陳情」については、平成30年度において陳情事項が反映される予定です。